(54) MOBILE COMMUNICATION SYSTEM

(11) 56-50639 (A) (43) 7.5

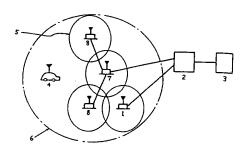
(21) Appl. No. 54-125373 (22) 1.1

(71) NIPPON DENSHIN DENWA KOSHA (72) TAKAYOSHI NAGATSU(3)

(51) Int. Cl<sup>3</sup>. H04B7/26

PURPOSE: To secure an increment of the number of radio zones without increasing the control volume at the radio control station by providing the subordinate radio base station to the radio base station, at the same time maintaining a high quality for the circuit by avoiding the increment of the number of stages of the station.

CONSTITUTION: The mobile station call number sent from the general telephone is sent to the radio controll station 2 via the automobile telephone exchange station 3 and then transmitted to the radio base stations 1 and 7. The station 7 calls out the corresponding mobile station 4 through the transmitters of its own station and the subordinate base station 8. The answer signal of the station 4 is received at the stations 1, 7 and 8 each, and the answer signal plus the reception field level are transmitted to the station 2 from the station 1 as well as from the station 8 to the station 7. At the station 7, the station 8 having the maximum level is selected among the signals from the station 8 and then transmits the fixed signal to the station 2. At the station 2, a comparison is given among several field levels and then the station of the maximum level is selected to set up the radio communication circuit to the station 4.



## (54) SWITCHING SYSTEM FOR RADIO CIRCUIT IN MOBILE COMMUNICATION

(43) 7.5.1981 (19) JP (11) 56-50640 (A)

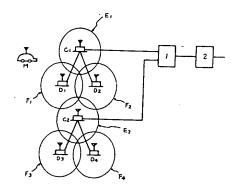
(21) Appl. No. 54-125374 (22) 1.10.1979

(71) NIPPON DENSHIN DENWA KOSHA (72) TAKAYOSHI NAGATSU(2)

(51) Int. Cl<sup>3</sup>. H04B7/26

PURPOSE: To realize a reduction of the control quantity at the radio control station, reduce the number of the wire circuits between the main base station and the control station and furthermore facilitate an extension of the radio zone, by distributing the subordinate radio base station under the control of the main radio base station.

CONSTITUTION: When the mobile station M shifts to the zone F, within the radio zone E1 and under the busy state, the main radio base station C1 switches the radio channel to the subordinate radio base station D1 and at the same time switches the wire circuit from the radio control station 1 to the side of the station D1. Then in case the station M shifts to the zone E2 from F1 under the busy state, the station C1 detects this shift from the reduction of the reception field level to then give the circuit switch request to the station 1. At the station 1 a comparison is given to the field levels between the stations C1 and C2, and the station C2 having a larger level is selected to give an indication to the circuit switching. The transmitter/receiver is actuated at the station C2 to set up the channel, and at the same time the new channel number is indicated to the station M from the station 1 for switching the channel. After this, the swiching of the wire circuit is performed through the automobile telephone exchange station 2.



(54) MOBILE COMMUNICATION SYSTEM

(11) 56-50641 (A) (43) 7.5.1981 (19) JP

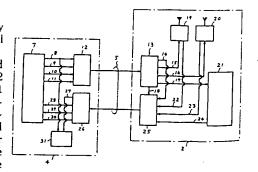
(21) Appl. No. 54-125375 (22) 1.10.1979

(71) NIPPON DENSHIN DENWA KOSHA (72) FUMIYUKI ADACHI(2)

(51) Int. Cl3. H04B7/26

PURPOSE: To realize an easy measurement for the variation of the amount of delay for the transmission line, by securing a multiplex transmission of the control signal and then using the frame synchronous signal as the phase monitor signal.

CONSTITUTION: The frame synchronous signal 8, the circuit control signals 9 and 10 plus the base station control signal 11 are supplied to the multiplexing device 12 from the control unit 7 of the radio circuit control station 4. Thus the signals 9~11 are multiplexed to be transmitted to the base station 2 via the control signal transmission line 5 and along with the signal 8. At the station 2, the control signals 15 $\sim$ 17 are isolated through the isolating device 13 and via the signal 8 and then supplied to the transmitters/receivers 19 and 20 plus the control unit 21 each. On the other hand, the reception signal from the mobile station and the control signal from the unit 21 are multiplexed by the device 25 to be transmitted to the station 4. At the station 4, the device 31 gives a monitor to the phase difference between the signal 8 and the frame synchronous signal 27 led out of the isolating device 26. And thus the amount of delay is measured for the transmission line group between the stations 4 and 2.



## (9) 日本国特許庁 (JP)

10特許出願公開

# ⑫公開特許公報(A)

昭56-50641

①Int. Cl.3 H 04 B 7/26 識別記号 109 庁内整理番号 6429-5K 砂公開 昭和56年(1981)5月7日

発明の数 1 審査請求 有

(全 3 頁)

## **◎移動通信方式**

②特

願 昭54-125375

22出

頁 昭54(1979)10月1日

⑫発 明 者 安達文幸

横須賀市武1丁目2356番地日本電信電話公社横須賀電気通信研

究所内

70発明 者 吉田博

横須賀市武1丁目2356番地日本 電信電話公社横須賀電気通信研 究所内

仰発 明 者 渡辺邦夫

の出 願

横須賀市武1丁目2356番地日本 電信電話公社横須賀電気通信研 究所内

人 日本電信電話公社

份代 理 人 弁理士 並木昭夫

妈 鍜 書

1. 発明の名称 移動通信方式

#### 2. 特許額求の範囲

各無級ゾーン毎に配置された級線基地局と、前 記紙総本地局を制御する無線回線制御局と、試紙 盤回磁制御局と一般運転回線網を接続する移動機 用交換局とから成り、前記各級製ソーンの集合で 榕成される制御ソーン内にある移動機が無級途地 局、無線回線網御局、移動機用交換局を介して一 設電話回避と通話を行なりに先立ち、無級回級制 御局が参勤級との関で、級顧回収散定のため、各 遊地局を介して向時に無鍵超級飼御信号の授受を 行なりようにした谷動通信方式において、縦殻回 盤餅御局と各基地局に、両周間で投受される無線 組織制御信号の多重化装置をよび分離装置を設け、 並地局においては鉛盤回線網網局より送られてき た多型個母よりフレーム問期個母を分離した後、 そのまま同局向けの多数値号のフレーム国助値号 として抑入伝送する手段を更に改け、総経函級級

御局においては、基地局向け多重保存に含まれる フレーム间期信号と基地局よりの多重信号により 送り巡されたフレーム间期信号とを取り出して比 較し、その位相量を測定する手段をさらに設けて 成るととを特徴とする移動通信方式。

#### 8. 発明の評細な説明

との発明は、移動通信方式に関するものであり、 質に詳しくは、複局制御方式を採る移動通信方式 にかいて、通話に先立ち、移動磁との間で銀磁回 銀数定のため各無線基地局から送信される無線回 銀制側信号のお互いの间の位相のずれを監視する 方式に関するものである。

一般に、小無線ソーン方式を用いる陸上移動紙 級方式では、いくつかの小ソーンをまとめて1つ の飼御ソーンとし、それらの各小ソーンの指地局、 を制御するため無線風線領導局を從く。

解1図は、かかる従来の必節通信方式の選成試 受を示したもので、1は移動機、2は無限基地局、 3は無限ソーン、4は無限回収衡判局、5は制制 佰号用伝送路、6は通路用伝送路である。なお無

特開網56- 50641 (2)

た無線回線側御信号は、それぞれ異なった時間に を動機1で受信されることになるので、信号與り が生する。そこで常に、無線回線側御局4と悲地 局2間の選延時間を各基地局について測定し、選 処量の変化を知ることが必要である。ところで、 無級回線側御用回線数は少なくとも2本必要であ るから、そのため各回線用に選延量を測定するための方式が必要となり、これでは設備が複雑化し コスト高を招くという欠点があった。

との発明は、上述の如き従来方式における欠点を除去するためになされたものであり、従つてとの発明の目的は、復周制御方式を採用したが助通 億方式において、無線回線側御局と該地局間の信号伝送避妊量の測定を、複数回線の各々について行なりととを受しないようにした移動通信方式を提供することにある。

との特別の構成の製点は、無線回線制砂局と結 地局間の側準信号伝送を多並化し、無線回線制砂 局から基地局に向けて伝送された多連信号のフレ ーム同期信号を、基地局から無線回線制御局に向

(4

期信号8、無線回線制御信号9と10、および参 延島を絹御するための鯛鯛信号11が淡出され、 多重化磁量12に入力される。多重化磁量12は、 飢御倡号9,10 ,11を多重化する契置で、フ レーム周期信号8は、基地局側の分離袋役13で、 それぞれの餌御佐号15~17に分泌する時の同 期をとるために抑入される。例仰倡号15 , 16 は、遊受信機19,20から移動機に向けて送信 される。又、基地局制御信号17は、基地局側御 装置21に入力される。送受信機の出力22,28 および制御袋量 21 の出力 24 は多重化装置 25 で多度化され、鋸縫回磁盤御局4欠伝送される。 との時、多重化裝置25のフレーム同期俗号には、 分離終設18で分離されたフレーム周期侵付14 を使用する。又、多重化磁位25のクロックには、 分離終盤18で再生されたクロック18を用いる。 無線回線制御局 4 にかける分離袋配 2 6 は、多選 信号を制御信号28~30 およびフレーム同期信 号27 に分離する。とのようになつているので、 多重化終鍵12のフレーム開射銀号8と分離狭設

級回線的御局4は、図示せざる移動は用交換局を 介して一般電話回路報とつながつている。

さて、無線域級制御局4は、図の場合3つの造 **地局2を制御している。移動機1が、自分のいる** ソーンの基地局を介して、固定加入省(一致電話 加入省)と、通話用伝送路6を通じて通話するに 先立つて、移動級1は銀鶴国級軌御局4との関で 通話用級線回縁数定のための無線回線制御信号の 授受を飼御用伝送路5を通じて行なり。移動級1 は、通話を始めるに当り、どこの無説ゾーンにい るか分らないので、複数の基地局をから一斉に鍛 韓国雄闘匈国母を移動機1に向けて送倡するとと により、その所在ソーンを判定する役局副御方式 が用いられる。この場合、無顧過激糾弾信号は制 御用伝送路 5を通じて複数器地刷 2 から送信され るが、無線回線到御局4と基地尉2間の伝送路が 摩客のため切替えられたりすると、解釈回顧制御 園4から一斉に各当地内に向けて無線回線制御信 号が送出されたとしても、各当地局には同時には 到滑しない。そりすると、各基地局から送信され

(3)

けて伝送する多重信号のフレーム问期信号として 用い、無線回線側御局において、この2つのフレ ーム同期信号の位相を監視するように構成した点 にある。以下図面について幹細に説明する。

据2図は、この発明の一契組例要部を示すブロック図であって、问図において7は無趣回線制御闘神袋量、8はフレーム同期個号、9,10はそれぞれ無線回線制御借号、11は基地局制御信号、12は多重化线量、18は分離接量、14はフレーム同期個号、15,16はそれぞれ無線回線制御信号、19,20はそれぞれ送受信機、21は基地局調神接優、28,23はそれぞれ無線回線制御信号、26は分離接置、27はフレーム同期保管、26は分離接置、27はフレーム同期保管、28,29はそれぞれ無線回線制御信号、30は基地局制御信号、31は位相測定装置であり、図示の如く、無線回線制御局4個と基地局2個とに分けて数備されている。

銀級回線銅鋼周制鋼装量でからは、フレーム関

排開昭56- 50641(3)

26のフレーム阿朝保号27との位格整を測定すれば、この値は無礙国線側御局~磁地局~無線回線側御局の巡延時間に相当したものとなる。これを位相整測定設置31で測定する。従つて、軽置31でフレーム同期保号の位相登を監視することによつて、無級国線側御局、基地局間の伝送路の遅延量の変化を知ることができ、この変化量がある値を越えた時には遅延量の調整に移ることができる。

以上説明したように、との発明では、無熱回談 側神局、基地局間での制御信号伝送を多重化し、 基地局では無級回線制御局からの多重信号のフレー 本の同期信号をそのまま無級回線制御局への多重 信号のフレーム同期信号として用いることにした もので、無級回線制御局にかいて、多重化疫域を よび分離袋屋の両フレーム同期信号の位相差を制 定することにより、伝送路の選延量の変化を知る ことができる。ところで、制御信号伝送を多重化 しない場合は、それぞれの伝送路について位相監 視が必要となるばかりでなく、位相器測定のため

(7)

に特別に任母を付加しなければならないが、この発明のように制御信号を多重伝送し、そのフレーム同期信号を位相監視用俗母として用いることにより、位相監視が容易になるという利点もある。

4. 図面の簡単な説明

第1図は、従来の参加通信方式の構成概要図。 第2図は、この発明の一実施例要部を示すプロック図である。

#### 符号说明

1…移動機、2…基地局、3…無線ソーン、4 …無終回線側轉局、5…制部信号用伝送路、6… 通話用伝送路、7…無線回線側轉局側轉度置、8 、14,27…フレーム阿期信号、9,10,16 、17,22,23,28,29…無線回線側轉 信号、11,17,24,30…基地局側御信号、 12,25…多重化模量、13,26…分解模量、 19,20…送受信機、21…基地局制御装置、 31…位相測定模量。

代理人 弁理士 並 木 昭 失

(8)

